

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年7月8日に使用制限となる登録の変更が予定されています。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第 17400 号	ガゼット粒剤	カルボスルファン粒剤	日産化学工業(株)
第 20794 号	FMC ガゼット粒剤	カルボスルファン粒剤	エフエムシー・ケミカルズ(株)
第 21046 号	石原ガゼット粒剤	カルボスルファン粒剤	石原バイオサイエンス(株)
第 23446 号	ISK ガゼット粒剤	カルボスルファン粒剤	石原産業(株)

■変更内容及び変更理由

【 変更内容（今回の使用制限変更にかかるとの部分のみ）】

作物名「なす」、「きゅうり」、「すいか」、「とうがん」、「だいこん」、「キャベツ」、「はくさい」、「ねぎ」、「ブロッコリー」、「ばれいしょ」、「かんしょ」、「いちご」、「メロン」を削除する。

【 適用表（今回の使用制限変更にかかるとの部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	カルボスルファンを含む農薬の総使用回数
なす	ミカンキイロアザミウマ	2g/株	定植時	1回	株元散布 育苗期後半： 株元散布 定植時： 株元散布又は 植穴土壌混和 植穴土壌混和 播溝土壌混和 作条土壌散布	1回
	アブラムシ類	1~2g/株				
	ミナミキイロアザミウマ	1g/株	育苗期後半			
きゅうり	アブラムシ類	1~2g/株	定植時			
すいか			1g/株			
とうがん	ミナミキイロアザミウマ	2g/株	定植時			
だいこん	キジノミハムシ	3~6kg/10a	は種時			
			は種覆土後			
キャベツ	コナガ	2g/株 (6kg/10a)	生育初期 但し、収穫45日 前まで	2回 以内	株元散布	4回以内 (マイクロカプセル剤は 2回以内、粒剤は 2回以内(定植時は 1回以内))
			育苗期後半			
	アオムシ アブラムシ類	1~2g/株 (3~6kg/10a)	定植時	1回	育苗期後半： 株元散布 定植時： 株元散布又は 植穴土壌混和	

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の	使用方法	カルボスルファンを
-----	--------	-----	------	-----	------	-----------

				使用回数		含む農薬の総使用回数
はくさい	コナカ	1~2g/株 (3~6kg/10a)	定植時 育苗期後半	1回	育苗期後半： 株元散布 定植時： 株元散布又は 植穴土壌混和	1回
	アブラムシ類	2g/株 (6kg/10a) 1~2g/株 (3~6kg/10a)	定植時 育苗期後半			
ねぎ	ネギハモグリハエ ネギアサミマ	3~6kg/10a	は種時 定植時	2回 以内	播溝土壌混和 植溝土壌混和	2回以内 (マイクロブセル剤は 1回以内、粒剤の は種時の土壌混和 は1回以内、粒剤の 定植時の土壌混和 は1回以内)
			生育期 但し、収穫45 日前まで 育苗期後半		株元散布	
	ネギコガ	6kg/10a	定植時	1回	植溝土壌混和	
			生育期 但し、収穫45 日前まで	2回 以内	株元散布	
ブロッコリー	コナカ	1~2g/株 (3~6kg/10a)	定植時 育苗期後半	1回	株元散布又は 植穴土壌混和 株元散布	1回
ばれいしょ	ナストビハムシ		植付時		植溝土壌混和	
かんしょ	アリモトキゾウムシ イモゾウムシ	6kg/10a	生育期 但し、収穫45 日前まで	4回 以内	株元散布	4回以内 (植付時の土壌混 和は1回以内)
	ハリカネムシ	9kg/10a	植付時		植溝土壌混和	
	コカネムシ類幼虫	6~9kg/10a	仮植床植付時		全面土壌混和	
いちご	アブラムシ類	0.4~0.75g/株 (6~9kg/10a)	本圃定植時	1回	株元散布又は 植穴土壌混和 株元散布	1回
	キンケチフトゾウムシ幼虫	2g/株				
メロン	アブラムシ類 ミナミキイロアサミマ	1~2g/株	定植時		育苗期後半： 株元散布 定植時： 株元散布又は 植穴土壌混和	1回
		1g/株	育苗期後半			

[変更後]  
削除

【変更理由】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、本剤の使用により想定される最高濃度で残留した農作物を一度又は1日に多く摂取した場合に、想定される急性参照用量を超過することが予想されたため。

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年7月8日に使用制限となる登録の変更が予定されています。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第15474号	アドバンテージ粒剤	カルボスルファン粒剤	日産化学工業（株）
第20795号	FMCアドバンテージ粒剤	カルボスルファン粒剤	エフエムシー・ケミカルズ（株）
第21047号	石原アドバンテージ粒剤	カルボスルファン粒剤	石原バイオサイエンス（株）

### ■変更内容及び変更理由

#### 【変更内容（今回の使用制限変更にかかっている部分のみ）】

作物名「きゅうり」、「すいか」、「なす」、「メロン」、「だいこん」、「かんしょ」、「いちご」、「ねぎ」、「とうがん」を削除する。

#### 【適用表（今回の使用制限変更にかかっている部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	カルボスルファンを含む農薬の総使用回数
きゅうり	シキイロアザミマ	株当たり 0.5～1g	育苗期後半	1回	株元処理	1回
すいか		株当たり 1～2g	定植時		植穴処理	
なす		株当たり 0.5g	育苗期後半		株元処理	
メロン		株当たり 1～2g	定植時		植穴処理	
だいこん	キジノミハシ	3～6kg/10a	は種時		播溝処理 土壌混和	4回以内 (植付時の土壌混和は 1回以内)
かんしょ	カネムシ類幼虫 アリモトキノウムシ イモゾウムシ	6～9kg/10a	植付時		植溝処理 土壌混和	
いちご	カネムシ類幼虫	10～20kg/10a	仮植床植付時		土壌混和	1回
	ネグサセンチュウ		本圃定植時			
ねぎ	ネグサセンチュウ ネギアザミマ	3～6kg/10a	育苗期及び 定植時	2回 以内	育苗期： 株元散布 定植時： 作条処理 土壌混和	2回以内 (マイクロカプセル剤は1回以内、 粒剤のは種時の 土壌混和は1回以内、 粒剤の定植時の 土壌混和は1回以内)
とうがん	シキイロアザミマ	株当たり 1～2g	定植時	1回	植穴処理	1回

[変更後]

削除

#### 【変更理由】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、本剤の使用により想定される最高濃度で残留した農作物を一度又は1日に多く摂取した場合に、想定される急性参照用量を超過することが予想されたため。

## 農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年7月8日に使用制限となる登録の変更が予定されています。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第20796号	FMCアドバンテージS粒剤	カルボスルファン粒剤	エフエムシー・ケミカルズ（株）
第21074号	石原アドバンテージS粒剤	カルボスルファン粒剤	石原バイオサイエンス（株）
第23181号	ISKアドバンテージS粒剤	カルボスルファン粒剤	石原産業（株）

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

作物名「かんしょ」、「ねぎ」、「だいこん」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	カルボスルファンを含む農薬の総使用回数
かんしょ	コガネシジメ類幼虫	6~9 kg/10a	植付時	1回	植溝処理 土壌混和	4回以内 (植付時の土壌混和は 1回以内)
	ハリガネシジメ類	9 kg/10a				
ねぎ	ネギアザミヤ ネギハモグリバエ	3~6 kg/10a	定植時		作条処理 土壌混和	2回以内 (マイクロプロセル剤は1回以内、 粒剤のは種時の土壌混和は 1回以内、粒剤の定植時の 土壌混和は1回以内)
	だいこん		キジノミハムシ			

[変更後]

削除

【変更理由】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、本剤の使用により想定される最高濃度で残留した農作物を一度又は1日に多く摂取した場合に、想定される急性参照用量を超過することが予想されたため。